

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【公開番号】特開2012-58060(P2012-58060A)

【公開日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-012

【出願番号】特願2010-200823(P2010-200823)

【国際特許分類】

G 01 L 19/00 (2006.01)

【F I】

G 01 L 19/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月12日(2013.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

被検出流体を導入する導入孔が形成される継手と、この継手に設けられるとともに導入された流体の圧力を検出する検出部と、この検出部で検出された信号を制御する制御基板と、前記継手に設けられるとともにこの制御基板を保持するスペーサと、このスペーサに支持されるホルダと、このホルダに形成された挿通孔に進退自在に設けられるとともに前記制御基板に電気的に接続されるプローブと、前記ホルダを抜け止めする抜止部を有するとともに前記継手に固定されるケースとを備え、

前記プローブは、前記制御基板に形成された係合孔に係合される係合部と、この係合部に接続されるとともに前記挿通孔に形成された段部に当接するばね部とを有し、前記係合部は前記係合孔に挿通される線状の挿通部と、この挿通部に接続され前記ホルダに係止可能とされる折返部とを有し、かつ、半田で前記制御基板に接合されることを特徴とする車載用圧力センサ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の車載用圧力センサは、被検出流体を導入する導入孔が形成される継手と、この継手に設けられるとともに導入された流体の圧力を検出する検出部と、この検出部で検出された信号を制御する制御基板と、前記継手に設けられるとともにこの制御基板を保持するスペーサと、このスペーサに支持されるホルダと、このホルダに形成された挿通孔に進退自在に設けられるとともに前記制御基板に電気的に接続されるプローブと、前記ホルダを抜け止めする抜止部を有するとともに前記継手に固定されるケースとを備え、前記プローブは、前記制御基板に形成された係合孔に係合される係合部と、この係合部に接続されるとともに前記挿通孔に形成された段部に当接するばね部とを有し、前記係合部は前記係合孔に挿通される線状の挿通部と、この挿通部に接続され前記ホルダに係止可能とされる折返部とを有し、かつ、半田で前記制御基板に接合されることを特徴とする。